

創生デザイン学科の紹介及び研究方針

日大生産工 日高単也 川岸梅和

1. はじめに

本年4月1日より、環境安全工学科と共に創生デザイン学科は、生産工学部創設以来の新学科として誕生した。学生数152名(内女子48名)、教員15名でのスタートである。

2. 創生デザイン学科

2-1. 創生デザイン学科の特徴

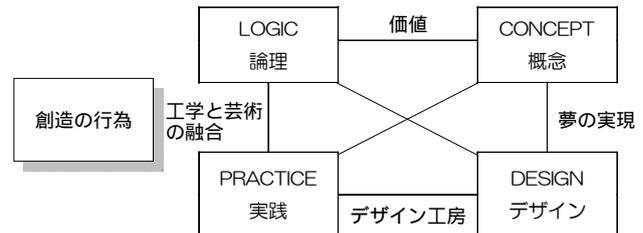
生産工学部は、「最先端のテクノロジーをいかに社会で生かせるかを学ぶ」を教育目標としており、工学の基礎力と応用能力を身につけ、更に経営管理能力をも兼ね備えた国際的に通用する技術者の育成を目指している。

本学科は、このような学部の教育目標のもと、「アートとテクノロジーの融合」・「夢を形にするデザイン力」を教育指針として、「使い手」・「社会」の立場に立った工学と芸術の融合による「ものづくり・場づくり」を志向している。

加えて、21世紀に必要な人材として「何らかの専門性を持ちながらも、そこに埋没することなく全体を俯瞰でき、かつ論理的でありながらも楽しさ、美しさや遊びなど論理では説明しきれない世界を理解できる人」と定義されている「クリエイティブ・クラス」の人材育成が期待されている。従って、「ものづくり・場づくり」の幅広い知識を基盤として、社会が求めるデザインの全体像を捉え、全体的なプランニングから「楽しさ」や「美しさ」をデザインできる、やわらかい工学を身に付けた「デザイナー」・「コンセプター」の育成を目指している。また、デザイン工房を拠点としたものづくりの実学教育と産業界と連携した教育システムによる実体験をカリキュラムに取り入れ、「人・活動・もの・空間の相互浸透から紡ぎ出すデザイン能力」を養成すると共に、21世紀のデザインに求められる、1) 応用美術としての美的要素、2) 科学的・工学的裏付け、3) 地球環境へのやさしさ、4) 人と社会への思いやり、を考慮したカリキュラムを構成している。

2-2. 教育理念と目標

本学部既設学科を横断し、ものの使用者側に立ったデザイン、生活者側に立った安全と安心、自然環境との共生と保全、持続可能な社会の再生と構築などの発想とスキルを身に付けた魅力ある人材育成を行うために実践的なものづくりを教育すると共に、「デザイン」と「コンセプト」を共通する要素として学際的分野を繋ぐことを教育理念とし、来たるべきコンセプトな社会において、工学と芸術の融合による「ものづくり・場づくり」を基礎とした旺盛なクリエイティビティーと実践能力を持ったクリエイティブ・クラスの「デザイナー」「コンセプター」の育成を教育目標としています。



高度な専門的研究と斬新な感性から生まれる新しい実学教育

2-3. 教育のポイント

工学と芸術の融合 / やわらかい工学がデザイン力を高める

工学の基礎力を持ったデザイン力 / やわらかい工学がこれからのデザインを支える
生活者の立場に立ってデザインを考える
使い手と環境にやさしいデザインを考える
デザイン工房を拠点としたものづくり体験による実学教育

産業界と連携した教育システムによる実体験
ユニバーサルデザイン、エコロジカルデザイン、サステナブルデザインを理解してデザインに取り組む

実践的な問題解決を図り、そして理論的に裏付ける

人・活動(行為)・もの・空間の相互浸透から紡ぎ出すデザイン

2 - 4 . コース

学生の興味と将来の目標に合わせて、プロダクトデザインコースとスペースデザインコースの2つのコースを設けている。
(2年時後期よりコース分け)

プロダクトデザインコース(定員60名)

身の回りにある工業製品、家庭電器製品から自動車機器、ロボット、福祉介護機器などを対象としたデザインの現場で、テクノロジーとデザイン、コンセプトとデザインの橋渡しができる「コンセプター」「デザイナー」の育成を目指している。

スペースデザインコース(定員60名)

居住環境、家具、照明などインテリア的対象と同時に、生活環境、環境造形、ランドスケープデザイン、ストリートファニチュアデザイン、コマーシャルデザイン、パッケージデザイン、サインデザインなどを対象とした空間デザインの現場で、テクノロジーとデザイン、コンセプトとデザインの橋渡しができる「コンセプター」「デザイナー」の育成を目指している。

3 . 創生デザイン学科の研究方針

右表は創生デザイン学科所属教員の研究テーマである。各専門は、機械系5名、電気・電子系1名、建築系5名、マネジメント系3名、数理情報系1名であり、研究内容は、空間デザイン、環境デザイン、環境造形、プロダクトデザイン、インダストリアルデザイン、マテリアルデザイン、システムデザイン、人間工学等々多岐にわたり、それらの学際的分野を繋ぎ、「使い手・社会の立場に立ったものづくり・空間づくり」を研究方針とし新しい分野の研究開発を行っている。

4 . おわりに

創生デザイン学科所属教員は、学部執行部は勿論、横断的な繋がりと協同により研究・教育が行えることと、学部発展に寄与できることに對し、記して深く感謝の意を表する。

教員氏名	研究テーマ
内田 康之	災害救助等で活躍する情報収集ロボットに関する研究 通学児童の安全確保に寄与するインテリジェントツールに関する研究 自律移動ロボットのためのセンサフュージョンに関する研究
大野 茂	複合材料の信頼性とリサイクル 防錆技術の信頼性と経済性 表面処理技術の機能性向上
川岸 梅和	建築・都市・生活空間・環境デザイン／高齢者福祉環境デザイン エコビレッジ型・エコロジー型コウハウジング 建築・都市空間と余暇活動の相関
竹島 正博	家電機器におけるユニバーサルデザインの評価法 人間感覚の計測を応用した製品開発・評価手法の検討 高齢者が使用するポスティングデバイスの操作性に対する評価
田中 達	公共空間における芸術文化の意味と役割 公共空間における視覚表示計画(サインデザイン)のありかた 子供の視線から見たデザイン(玩具、遊具、環具)
鳥居塚 崇	生活・社会・産業における問題意識の抽出と安心・安全・快適のデザイン 物理量と心理量のマッチング／感性工学的観点によるデザイン評価 伝達のためのデザイン／ものづくりに必要なスキルのマネジメント
中川 一人	金属材料の表面処理による耐食性と意匠の向上 高温高圧水を用いた木材の塑性加工 リサイクル製に優れた金属材料の作製
中澤 公伯	地理情報システムと政策工学 地域ブランディング プロジェクトマネジメント
西 恭一	マルチエージェントによるCO ₂ 溶解シミュレータ 並列・分散マルチエージェントプラットホーム(Afw)の開発 クレー射撃における挙動解明
日高 單也	環境造形を主題とするスペースデザイン作品の制作に関する実験的研究 デザインングプログラムを用いたデザインシステムに関する研究 公共空間に位置づけるアート及びサインに関する調査研究
星野 和義	光造形法に関する研究 低融点合金を用いた美術品の製作 耐摩耗性に優れたAl-Si合金の開発
堀江 良典	作業システムの最適化に関する研究 快適性評価の標準化 コミュニケーションの場における視覚情報の寄与
三井 和男	自己組織化による構造形態の自律的生成と空間デザイン 遺伝的アルゴリズムによるシステム最適化 局所的相互作用により創発される全体的構造
宮崎 隆昌	地域環境形成計画(ランドスケープアーキテクチャー) 沿岸域の環境形成に関する基礎研究 地理情報システムを用いた地域分析
山家 哲雄	欧州のあかり文化と照明デザイン 都市景観と照明デザイン プレミアムカーと照明デザイン

